

パブロ・ピカソ『ゲルニカ』の世界

4.折れた剣を持つ倒れた兵士(剣の上に花?)



フランコ、ファシズムの犠牲になった戦士(スペイン市民)の象徴。右手の折れた剣の上に花が咲いていることから、復活の象徴とも。ファシズムに倒れても復活するスペインとも解釈できる。

ファシズムの犠牲者、またはスペイン市民の代表と考えられています。



反戦の意を込めて

爆撃の様子をリアルに描くのではなく、様々な角度から見た姿を画面にまとめて描くキュビズムや、現実を超越したシュルレアリスムなどの手法で描いています。これによって、ゲルニカ爆撃だけでなく、戦争の悲劇さを人々に訴えています。

「ゲルニカ」に描かれているものとは?その意味とは?

「ゲルニカ」は、スペインの内戦を題材にした作品です。1937年に反乱軍のフランコ將軍を支援するナチスによって行われたスペイン北部の小都市ゲルニカに対する無差別爆撃が題材になっています。この事件は、当時ファシズムの残酷さを象徴するものとして、国際的に激しい批判の対象とされていました。

制作: 5年10月26日

作者名
(ニックネーム)

太郎冠者

Famous Painters'Work 名画で塗り絵を楽しみましょう